

令和5年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名：北海道

農業委員会名：滝上町

I 農業委員会の状況(令和5年4月1日現在)

※「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和2年7月20日

任期満了年月日 令和5年7月19日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	13	13
認定農業者	—	10
認定農業者に準ずる者	—	2
女性	—	2
40代以下	—	2
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	無	無	無

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	59
農業経営体数	54

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	132
女性	48
40代以下	44

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	39
基本構想水準到達者	1
認定新規就農者	0
農業参入法人	0
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	0	3,650	3,650	0	0	3,650

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)／(A)	
	3,650	ha	3,547	ha	97.2	%
課題	離農者等の農地があるため集積率を維持もしくは増加できるように農地の権利設定に努める。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和12年度	集積率	95%
今年度の新規集積面積	5ha	農地面積(C)	3,650ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	3,552ha	(目標)今年度末の集積率(E)=(D)／(C)	97.3%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③ 実績

今年度の新規集積面積	4ha	農地面積(F)	3,650ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	3,491ha	今年度末の集積率(H)=(G)／(F)	95.6%
目標に対する達成状況(H)／(E)	98.3%		

農業委員会の点検結果	新規集積は令和5年度の目標に僅かに届かなかったが、農地の活用を進める事ができた。今年度末の集積面積が下がった理由は、大規模な農地を耕作している農家の離農に伴い、農地あっせんを進めているが面積が広大であることから、地域農家への意向調査、協議、調整等に時間を要しており、年度中の整理がつかなかったため下がったため、次年度以降に集積を進めたい。令和7年度から開始する地域計画及び目標地図についてもその点を踏まえて策定し、目標達成に向けた集積を進めることとした。
------------	---

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2) 遊休農地の発生防止・解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積		
		うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	0ha	0ha	0.0ha

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和4年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	0.0ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	0.0ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和4年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

令和4年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.0	ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	該当無	

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.0	ha
---------------------------	-----	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

ａ 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	0.0	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)／(C)	0.0	%

ｂ 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	該当無	
-------------------------	-----	--

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	0.0	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	8月31日		9月30日	
	1号遊休農地の面積	0.0 ha	うち緑区分の遊休農地	0.0 ha
			うち黄区分の遊休農地	0.0 ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	該当無		該当無	

農業委員会の点検結果	利用状況調査において、遊休農地が発見されなかった。令和7年度から開始する地域計画及び目標地図の規定にあたって、未活用農地、遊休農地を増やす事の無いような取り組みが必要である。
------------	---

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和3年度新規参入者	令和4年度新規参入者	令和5年度新規参入者
	0 経営体	0 経営体	0 経営体
	0.0 ha	0.0 ha	0.0 ha
課題			

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
	327 ha	217 ha	245 ha	263 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	26.3 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		0.0	ha
公表URL	https://www.town.takinoue.hokkaido.jp/chosei/sangyo/nougyo/nougyoiinkai/sokaigijiroku.html	(その他の公表方法)	なし
目標に対する達成状況(B)/(A)		0.0	%
(参考)新規参入者の参入状況	参入経営体数	0	経営体
	取得農地面積	0.0	ha

農業委員会の点検結果	大規模な農地を耕作している農家の離農等に関連して、新規就農希望者の対応を関係機関と連携して実施した。残念ながら新規就農につながらなかったが、今回の経験とノウハウを活かしつつ、農業委員会として農地をはじめ、あらゆる面で新規就農の取り組みに力を入れていきたい。
------------	--

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	5	日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	13	人
			農地利用最適化推進委員の人数	0	人

(2)活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	3	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
4月	①	農地のあっせんを通して冬期間に権利移動を希望している土地所有者の農地を適切に権利設定できるように努める。
7月	②	農地利用状況調査を通して耕作放棄地や不耕作地の早期発見、農地としての利活用を検討して遊休農地の発生を未然に防ぐ。
8月	②、③	次年度以降の地域計画の策定に向けた取り組みを行う。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	3	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の結果
4月	①	農地のあっせんをとおして、冬期間に権利移動を希望している土地所有者等の農地を適切に権利設定ができた。
8月	②	農地利用状況調査をとおして、農地として活用すべき土地の検討を考慮しながら、地域計画及び目標地図の作成に向けた活動をすることができた。
11月	②、③	地域計画策定及び目標地図(素案)の作成に向けて、地域への意向調査、今後の農地の利活用、10年後の担い手等について協議した。新規参入に向けて、関係機関と連携体制を構築し、受入内容を協議して、希望者への相談・現地対応等を実現及び実施することができた。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	1回
---------------	----

開催時期	来春頃	相談会名	新規就農フェア
参加者数	1名以上	開催場所	札幌市
相談会の内容	新規就農が今後重要になるため、農政と連携して農業委員会から地域の農業者として参加できたらと思っている。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	2回
---------------	----

開催時期	令和5年11月23日	相談会名	北海道新規就農フェア
参加者数	1名	開催場所	札幌市
相談会の内容	新規就農に興味を持って参加している方に対して、PRすることができた。就農希望者に本町の受入メニューを提示できることが必要であり、今後も関係機関と連携して相談会に臨みたい。		
開催時期	令和6年3月2日	相談会名	北海道新規就農フェア
参加者数	1名	開催場所	札幌市
相談会の内容	新規就農に興味を持って参加している方に対して、PRすることができた。就農希望者に本町の受入メニューを提示できることが必要であり、今後も関係機関と連携して相談会に臨みたい。		

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

目標に対して期待どおりの結果が得られた

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	0
目標に対し期待を上回る結果が得られた	0
目標に対して期待どおりの結果が得られた	0
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	13

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入